



「しおかぜ」だより

今年も半ばを過ぎ、夏真っ盛りの7月となっておりますが、お疲れになってらっしゃいませんか？
 そこで、涼しい気分になれば…と”七夕”について書いてみます。
 当園でも、七夕の行事食として そうめん をお出ししているのですが、そのルーツについて今更ながら調べてみましたところ、なんと平安時代の宮中で、七夕にそうめんをお供え物にする事と定められていたそう。
 ただ、当時のそうめんは、索餅（さくべい）という中国伝来の、小麦粉と米粉を混ぜて作る麺だったと言われており、中国の故事で、索餅を供えると流行病にかからない という言い伝えがあり、それにあやかって日本でも七夕の行事食として根付いたようです。（他にも諸説あります）
 旧の七夕は、8月17日のようですので、気分を味わわれてはいかがでしょうか。
 そして、翌18日には、今年も納涼祭を予定しておりますので、皆さまのご来園をお待ちしております。
 まだまだ今からが暑さ本番ではありますが、熱中症や食中毒等気を付けて、夏を乗り切ってくださいませ。

★6月のふれあいデーの様子
 民謡クラブの方々が歌を披露して下さりました！



手拍子したり！



ご利用者様も曲に合わせて歌を歌ったりして、楽しい時間を過ごす事が出来ました。

一緒に歌ったり♪



いつもありがとう！

6月17日が父の日という事で、男性ご利用者の方々に、黄色いバラをプレゼントしました。



【今月の行事】

- 7/4 音楽療法
- 7/7 七夕
- 7/21 ふれあいデー
 (スイカ割り)
 (そうめん流し)

